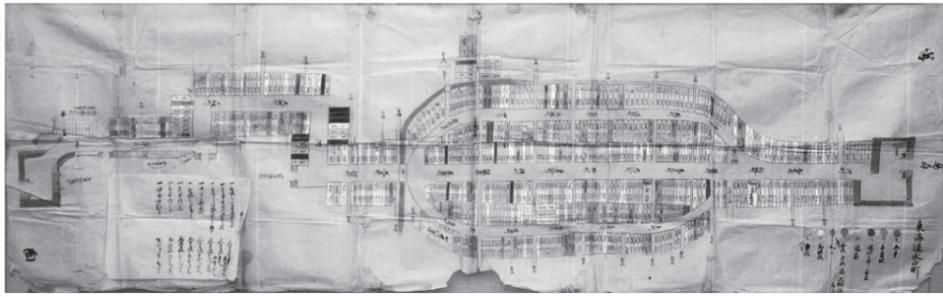


⑥矢川神社文書



⑤東海道土山宿本陣土山家文書宿帳



⑧東海道水口宿文書



⑦北脇遺跡出土銅印



③六角形石燈籠



②不動一尊種子板碑



①石造宝篋印塔



④木造男神坐像(八坂神社本殿安置)

甲賀市指定有形文化財を指定

8件を指定、総数135件に

市教育委員会では平成23年1月27日付けで有形文化財8件を「甲賀市指定有形文化財」に指定しました(うち追加指定1件)。これらは石造物や彫刻、古文書や考古資料などであり、いずれも地域の人びとが今日まで大切に守り伝えてきた歴史的価値の高いものです。

今回は甲賀市合併後初めての文化財指定であり、これにより甲賀市の市指定文化財の総数は135件となりました。

1. 新指定文化財

を刻んだ全国的にも珍しい修験道関係の石造資料です。

①石造宝篋印塔

(土山町前野・瀧樹神社)

鎌倉時代後期の宝篋印塔で、瀧樹神社の神宮寺であった旧観音寺跡に立っています。五尺五寸(約160cm)からなる花崗岩製の塔身には大日如来像や梵字が刻まれており、均整のとれた完存する塔として貴重なものです。

②不動一尊種子板碑

(土山町瀬音)

御代参街道の笹尾峠に立つ室町時代明応9(1500)年に造立された板碑で、不動明王の梵字と山伏の通行を許可する文言

③六角形石燈籠

(信楽町牧・白雲神社)

鎌倉時代元久4(1306)年に造立された花崗岩製の燈籠です。造られた年号が刻まれた石灯籠としては市内最古で意匠にも優れており、特に六角形の火袋に刻まれた花瓶差しの蓮華の文様は繊細で優美なものです。

④木造男神坐像

八坂神社本殿安置 9軀

境内社天神社安置 1軀

(水口町巖峨・八坂神社)

平安時代に造られた神像群で、檜材の一木造で表面に荒々しいノミ目を残して仕上げら

れ、それぞれ豊かな表情を持っています。悪疫退散と村民守護、五穀豊穣をもたらす牛頭天王とその子である八王子神がすべてそろった貴重な神像群です。

⑤東海道土山宿本陣土山家文書宿帳

(土山町北土山)

東海道土山宿において本陣職を勤めた土山家に伝来する宿帳で、大名・公家・琉球使節・幕府役人などが寛永7年から明治2年間に16,370回も宿泊した記録が記されていて、近世交通史上の重要な史料です。

⑥矢川神社文書

(甲南町森尻・矢川神社)

矢川神社に伝来する江戸時代以降の文書群で、神仏事、年中行事、社殿造営と大工組などの記録からは甲賀を代表する郷鎮守社の運営と祭祀の実態が分かり、山川流域の民俗文化を知ることができる史料として貴重です。

2. 追加指定

⑧東海道水口宿文書

平成8年に指定した古文書に今回新たに見つかった史料を追加指定するもので、大型の彩色絵図や旧本陣文量図などが含まれ、水口宿の近世から近代初頭の歴史を知る貴重な史料です。

文化財は先人が残してくれた貴重な地域の宝で、まちの歴史を知り、文化の移り変わりを理解するうえでなくてはならないものです。これからも未永く保護し、地域の誇りとしてまちづくりの中で活用していかなければなりません。

⑦北脇遺跡出土銅印

水口町北脇遺跡から出土した

問い合わせ
歴史文化財課 調査管理係
☎86・8026
☎86・8216